

対策による効果

ハード・ソフト
対策の連携、広域性

地域社会への
インパクト

他分野との連携

対策による評価

意識の変化

⑨タイムラインに沿って対応事項を進める低平地での豪雨対策【石川県 河北潟沿岸土地改良区】

- 豪雨災害を念頭に置いた事前行動計画を定め、タイムラインに沿った対応事項等を規定し、豪雨に対する予備排水等の事前準備・対応を実施。
- 排水ポンプシステムに遠隔監視システムを導入・運用。

地域概要

- 河北潟沿岸地区は石川県金沢市北部から津幡町、内灘町を含む西南部に位置し、河北潟に向かって緩傾斜する低平地。
- 区内全域は、ほぼ水田で、現在の農地面積は1,935ha。計23の排水機場を活用した排水を行っている。



河北潟沿岸地区※緑範囲
(出典：河北潟沿岸土地改良区提供資料)



河北潟調整池



大場排水機場

対策の内容・結果

ハード整備

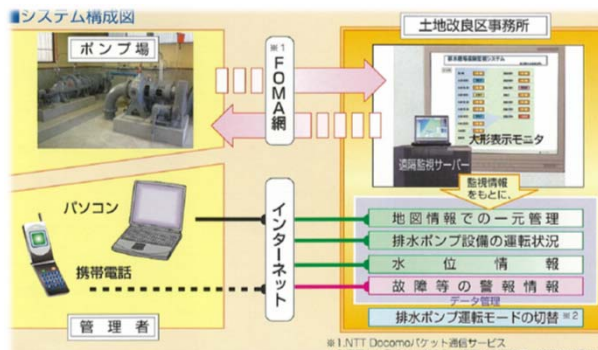
- 【遠隔監視システムの導入】
- 排水ポンプの合理的な管理を行うため、計20の排水機場に遠隔監視システムを導入（平成16年）。
- 排水路の内水位等の情報を遠隔から取得（パソコン、携帯電話）。排水ポンプの運転モードの切り替えもできるようになった。

ソフト整備

【事前行動計画の策定】

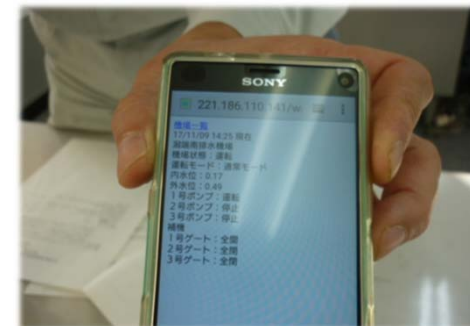
- 台風接近に伴う豪雨災害への対応として、「事前行動計画」を策定。
- 排水路の水位やポンプの稼働状況の確認等について、台風接近の24時間前、12時間前、6時間前のタイムラインに沿った対応事項、実施者、実施場所を規定。

- 豪雨に対する予備排水等の事前準備・迅速な対応が可能になり、浸水被害の軽減が期待。



システム構成図

(出典：河北潟沿岸土地改良区提供資料)



スマートフォンによる情報の確認

対策の背景

豪雨災害対応

- 平成10年9月の豪雨では50 cm以上湛水するなど、湛水被害に悩まされていた。